



第8回JBLSFチャレンジカップ大会

第24回JOCジュニアオリンピックカップ競技会

[大会要項]

1. 主催 公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟（JBLSF）
2. 主管 長野県ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟（NBLSF）
3. 後援 (公財)日本体育協会（予定） (公財)日本オリンピック委員会（予定）
長野県（予定）長野市（予定）長野市教育委員会（予定）
4. 開催期間 平成29年1月21日(土)～22日(日)
5. 会場 スパイラル（SPIRAL™）長野市ボブスレー・リュージュパーク
長野市中曾根 3700 番地 TEL 026-239-3077
チームキャプテンズミーティング会場は、管理棟3階ラウンジ
6. 競技種目 ボブスレー 2人乗りシニア（男子・女子）、2人乗りジュニア（男子・女子）、4人乗り
スケルトン シニア（男子・女子）、ジュニア（男子・女子）
リュージュ 1人乗り（男子、女子）、ジュニア（男子・女子）、7Cスタート
※各競技のジュニア部門は、JOCジュニアオリンピックカップ競技会として行う。
7. 日程（出場選手数・天候等により変更もありうる）
21日(土)
 - 9:20～ 公式練習1本目 リュージュ
(男子1人乗り、女子1人乗り、ジュニア（男子・女子）、7Cスタート)
 - 9:50～ 公式練習2本目 リュージュ
(男子1人乗り、女子1人乗り、ジュニア（男子・女子）、7Cスタート)
 - 10:10～ 公式練習1本目 スケルトン（ジュニア（女子、男子）、シニア（女子、男子）)
 - 11:25～ 公式練習2本目 スケルトン（ジュニア（女子、男子）、シニア（女子、男子）)
 - 14:00～ 公式練習1本目 ボブスレー
(2人乗り（ジュニア（女子、男子）、シニア（女子、男子）、4人乗り)
 - 14:40～ 公式練習2本目 ボブスレー
(2人乗り（ジュニア（女子、男子）、シニア（女子、男子）、4人乗り)
 - 16:30～ チームキャプテンズミーティング、競技会ドロー

22日(日)

- 9:20～ 競技1本目 リュージュ(男子1人乗り、女子1人乗り、ジュニア(男子・女子)、7Cスタート)
10:10～ 競技2本目 リュージュ(男子1人乗り、女子1人乗り、ジュニア(男子・女子)、7Cスタート)
10:40～ 競技1本目 スケルトン(ジュニア(女子、男子)、シニア(女子、男子))
12:15～ 競技2本目 スケルトン(ジュニア(女子、男子)、シニア(女子、男子))
14:40～ 競技1本目 ボブスレー(2人乗り(ジュニア(女子、男子)、シニア(女子、男子)、4人乗り)
15:35～ 競技2本目 ボブスレー(2人乗り(ジュニア(女子、男子)、シニア(女子、男子)、4人乗り)

※表彰式を、それぞれの競技の各順位が確定次第、ウエインハウスで実施(会場、実施時間を変更する場合、場内アナウンス等により連絡)

8.参加費 1種目につき 1人2,500円

9.種目別スタート位置

【リュージュ】	男子1人乗り	男子スタート	1326m
	女子1人乗り	女子スタート	1194m
	ジュニア(男子・女子)	ジュニアスタート	949.5m
	7Cスタート	第7Cスタート	698m
【スケルトン】	シニア(男子・女子とも)	ボブスレースタート	1360m
	ジュニア(男子・女子とも)	ボブスレースタート	1360m
【ボブスレー】	2人乗りシニア(男子・女子とも)	ボブスレースタート	1360m
	2人乗りジュニア(男子・女子とも)	ボブスレースタート	1360m
	4人乗り	ボブスレースタート	1360m

10.参加資格

- 各連盟は、選手選考にあたり、本大会における以下の参加資格を満たすチーム又は選手を、責任を持って選考し、申し込むこと。(選手からの直接申込は受けない。)
- 日本連盟から選手証が発行されていること。(選手証のない選手を出場させたい場合は、下記参加申し込み締切日までに必ず日連事務局に許可を求めること。参加の可否については後日事務局より通知する。)
- 各連盟強化担当者により、各競技種目のスタート位置からのスタートを許可されている者(申込書に強化担当者の署名捺印が必要。)
- ジュニア部門(JOCジュニアオリンピックカップ競技会)の参加資格は、大会当日にボブスレーが26歳未満の者(平成28年10月1日～29年3月31日に26歳になった者を含む)、スケルトンが23歳未満の者(平成28年10月1日～29年3月31日に23歳になった者を含む)リュージュが20歳未満の者(平成28年10月1日～29年3月31日に20歳になった者を含む)とする。なお、ボブスレーは、26歳未満の部及び23歳未満の部の2部門を一括して行う。
- 次の組み合わせ以外の重複エントリーは、認めない。
 - ①リュージュ男女1人乗りと2人乗り ②リュージュあるいはスケルトンとボブスレーのプレーカー
- ボブスレーにおいて、同一のそりを使うことができるチーム数は、そりごとに2チームまでとする
- 未成年者の出場には、保護者の承諾書(原本)を添付すること。
上記の条件を満たし、参加申し込みを受理されたチーム又は選手には2本の公式練習滑走が与えられるが、そのうち少なくとも1回、転倒なく完走した者のみが競技会参加資格を与えられる。

11.申し込み方法

- 各連盟は、本要項に従って責任をもって選手選考を行い、別添の申込書により1月10日(火)PM3:00までに参加料を添えて申込むこと。(選手からの直接の参加申込は受付けない。また、上記期日までの申込みにおける参加料の支払いも上記期限厳守とし、期限以降の参加料振込は、締切日以降の参加申込みとみなし、参加料は2倍の金額とするので注意すること。)

※ 振込先

八十二銀行	本店営業部	普通	No. 1177198
口座名義人	公益社団法人	日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟	
	会長	北野 貴裕	
(コウエキヤダクンホウジン ニホンボブスレー・リュージュ・スケルトンレンメイ カイチョウ キタノ タカヒロ)			

- 上記申し込み締切日(1月10日)以降、エントリーの追加は認めない。ただし、大会前日(1月20日(金))の15時までに長野県連事務局に連絡したうえで、参加費の2倍の額を納入することにより、エントリーの追加を認めるものとする。
- ボブスレーにおいては、チームのエントリーは1月10日(火)までとし、メンバー (パイロットを含む)のエントリーは21日の公式練習滑走開始までに済ませることとする。
- 上記申し込み締切日(1月10日)以降、エントリーの取消による参加費の返還はしないので、不参加選手の参加費については各連盟(ボブスレーの場合は、パイロットの所属する連盟)で責任をもって支払うこと。

12. 表彰

(ボブスレー及びスケルトンのシニア全種目、リュージュ1人乗り(男子、女子)、)

1位から3位までに賞状、メダル

(ボブスレージュニア(男子・女子)、スケルトンジュニア(男子・女子)リュージュジュニア(男子・女子)ジュニアオリンピックカップ競技会として 1位にトロフィー、1位から3位までに賞状、メダル スケルトンジュニアの男女の各優勝者は、次年度の全日本選手権大会において、予選への参加の有無を問わず、大会本選への参加資格を有することができる。)

※リュージュの7カーブスタートについては、表彰式後に事務局から記録証が渡される。

13. 計時システム

- 競技場既設のタイミングシステム(NTTDaTa タイミングシステム)
リュージュは1/1000秒、スケルトン及びボブスレーは1/100秒まで計測

14. 滑走順

- 全競技の公式練習の滑走順は、全日本選手権大会の成績あるいは主催者側の非公開ドローにより決定し、スタートリストは各種目の輸送開始までに各連盟のメールボックス及び各スタートの選手控室に配布するとともに、場内アナウンスする。
- 競技日の滑走順は、国際競技連盟の規則に沿ったドローを原則とし、21日のチームキャプテンズミーティングで決定する。
- 大会の運営に支障がない限り、2本目の滑走順は各国際連盟規則に従うものとする。

16. 公式練習日の輸送開始時刻（ボブスレー格納庫から各スタート位置まで）

<u>リュージュ</u>	<u>8:20～</u>
<u>スケルトン</u>	<u>8:50～</u>
<u>ボブスレー</u>	<u>12:30～</u>

※競技日の輸送開始時刻は、21日のチームキャプテンズミーティングで発表する。

17. その他の参加規定

- ・選手は、傷害保険に加入していること。（参加申込時に傷害保険契約書等のコピーを添付すること。）
- ・ボブスレーの4人乗りは、性別を問わず参加できる。（男女混合も可）
- ・個人装備品・用具については、国際競技連盟規則に準ずる。
なお、スケルトンに関する用具について、現状を考慮して、本大会における規定を以下のとおりとするので、参加者は遵守すること。

① ヘルメット

I B S F規則に沿ったものが原則であるが、以下の条件を全て満たしているものは使用可とする。

- ・あごあて付のフルフェイスのヘルメットで、頭部と耳を外側からカバーしてふさいでいること。
- ・スポイラー付きあるいは突出している縁がなく、公的な安全基準に適合しているヘルメットであること。（貼付されているSGマークが有効期間内であること。）
- ・付加的な空気力学的要素あるいは粘着テープ（バイザー及びゴーグルのストラップを固定するためのものを除く）がないこと。
- ・バイザーは、割れたり砕けたりしないこと。

② 靴

ボブスパイクの使用が原則だが、以下の全ての条件を満たすスパイクシューズの使用も可とする。

- i) スパイクピンは、靴1足につき8本以内であること
- ii) 靴底からのスパイクの長さが7mm以内であること
- iii) スパイクピンの直径は、2mm以内であること
- ・そり運搬時トラックへの上げ下ろしは、選手が責任を持って行うこと。
- ・そりのレンタルは原則として行わない。

18. 競技運営上の注意

- ・本大会は、各競技の国際競技規則並びに本大会の規定に従って行う。
- ・本大会は、チャレンジカップとジュニアオリンピックカップの合同開催であり、スムーズな運営になるよう選手・コーチにご協力願いたい。
- ・競技、種目に変更となるときは最低1分間のインターバルをとる。
- ・ボブスレーの場合、そりの運搬やチームの交替による調整のために中断することがある。
- ・スタートリスト・リザルト・各種インフォメーションは、各連盟のメールボックスに入れておくので、確認すること。（1日以上経過したものは、回収・破棄するので、留意すること。）
- ・チームの名称等会場放送して欲しいチームはレースオフィスまで連絡すること。なお、チーム名の記載のない場合は、ドライバー・ブレイカーの名字を放送する。
- ・2本目の滑走は、上記記載時刻を予定しているが、大会の進行により変更となる場合がある。
- ・遮光幕のオープンは当日の朝、場内アナウンスで発表する。
- ・パイロットそりは、滑走希望者がいれば各国際連盟規則に則り実施する。
- ・ボブスレーのブレイカーの変更については、国際競技規則に準じて手続をすること。